

第 33 回放射線による制癌シンポジウム開催について

(社)日本医学放射線学会
会 長 小 西 淳 二
生物部会長 佐々木 武 仁

第33回放射線による制癌シンポジウムを下記のとおり開催します。

記

世 話 人：金沢大学・/医学部・保健学科 放射線診療技術学講座
菊池 雄三

日 時：2003年 7 月18日(金), 19日(土)

場 所：金沢市アートホール

〒920- 0853 金沢市本町2丁目15番1号 ポルテ金沢 6 F

TEL：076-224-1660 Fax：076-224-1668

主 題：21世紀の放射線治療： - 四次元放射線治療の基礎と臨床 -
構成テーマ

1. 時間と空間

2. 空間的線量分布と生物学効果

A. IMRTを中心に

B. 粒子線治療を中心に

3. 血流と空間

招聘講演：“ Chemo-radiotherapy for Lung Cancer: How to Reduce Normal Tissue Toxicity ”
Professor Ritsuko Komaki M.D. Anderson Cancer Center
Dept. of Radiation Oncology

教育講演：放射線抵抗性癌の生物学(仮題)

佐々木武仁 東京医科歯科大学大学院 口腔放射線医学分野

連絡先：〒920-0942 金沢市小立野5-11-80

金沢大学・/医学部・保健学科 放射線診療技術学講座
菊池 雄三

TEL：076-265-2530 FAX：076-234-4366

E-mail: kikuchi@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp

第 14 回放射線科専門医認定一次試験について

会 長 小 西 淳 二

下記のごとく第 14 回放射線科専門医認定一次試験を行います。受験希望者は必要書類を添えて期日までに出願してください。

記

試験の期日	平成 15 年 8 月 29 日(金)
試験の場所	東京都内
試験の内容	1)放射線診療全般(診断,核医学,治療)における基礎知識 2)臨床放射線科医としてわきまえておくべき放射線物理学,放射線生物学,放射線管理 (放射線防護を含む)
試験の方法	筆記試験(第 13 回平成 14 年 8 月 30 日施行の試験問題は学会誌平成 14 年 9 月 25 日号 62 巻 10 号に掲載されています。)
受験手続	出願開始 平成 15 年 4 月 7 日(月) 締 切 5 月 9 日(金)〔必着〕

受験を希望される方は、返信用封筒(21×27cm以上)に160円切手(一次願書と表記し)を貼り、自分の宛先(住所・氏名)を記入して学会本部に申し込めば必要書類を送付します。

認定試験の受験資格

認定試験は、学会の会員で、次の各号に該当するものでなければ受験することができない。

- (1) 日本国の医師免許を有すること。
- (2) 医師法(昭和 23 年法律 201 号)第 3 条および第 4 条の規定に該当しないこと。
- (3) 受験の時点で、医師免許取得後 3 年以上で本学会員となって 2 年以上が必要である。
- (4) 上記 3 年のうち少なくとも 2 年は学会が認定した修練期間での修練が必要である。協力機関において受ける修練は修練期間の 1/2 まで認められている。総計の修練期間は 15 年 5 月末日まで少なくとも 2 年が必要である。

出願に当たっての質問は、書面で専門医認定委員会に問い合わせてください。

学会本部：〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 29 番 13 号

赤門アビタシオン内 301 号室

社団法人 **日本医学放射線学会**

第 12 回放射線科専門医認定二次試験について

会 長 小 西 淳 二

下記のごとく第 12 回放射線科専門医認定二次試験を行います。
(高度の臨床放射線学を理解し総合的画像診断部門, または放射線腫瘍学部門における専門的知識をもち, 研修課程の放射線科医師・他診療科医師を指導できる臨床能力を評価する)

これは二段階試験のうちの二次試験です。「診断・核医学」, 「放射線治療」の何れかを選択して受験して下さい。同時に二つの部門の受験は認めません。

なお,すでにどちらかの部門に合格している場合は受験出来ません。下記の受験資格に注意して下さい。受験希望者は必要書類をそえて期日までに出席して下さい。

記

試験の期日	平成 15 年 8 月 29 日(金)	筆記試験
	8 月 30 日(土)	口答試験
試験の場所	東京都内	
試験の内容	1)放射線診断学 2)放射線治療学 3)放射線管理 1), 2)に含む	
試験の方法	口答試問および症例を中心とした筆記試験(第 11 回平成 14 年 8 月 30 日施行の筆記試験問題は学会誌平成 14 年 9 月 25 日第 62 巻 10 号に掲載されています。)	
受験手続	出願開始	平成 15 年 4 月 7 日(月)
	締 切	5 月 9 日(金)(必着)

受験を希望される方は, 二次願書と表記し自分の宛先(住所・氏名)を書いた返信用封筒(21×27cm以上, 160円切手貼付)とともに学会に申し込めば, 必要書類を送付します。

認定試験の受験資格

認定試験は, 学会の会員で, 次の各号に該当するものでなければ受験することが出来ない。

- (1) 日本国の医師免許を有すること。
- (2) 医師法(昭和 23 年法律 201 号)第 3 条および第 4 条の規定に該当しないこと。
- (3) 一次試験合格者で, その後 2 年は学会が認定した修練期間あるいは協力機関において, 診断・核医学または治療を研修したもの。
- (4) 診断・核医学の二次試験受験者は, 本年度から日本医学放射線学会雑誌投稿論文(主著者)あるいは放射線画像データ管理システムhttp://image.radiology.or.jp/radiology/login_ssl.htm (操作マニュアルは学会雑誌 Vol. 62. No. 9 に掲載)に, 7 月末日まで一例の症例登録を必要とします。

出願に当たっての質問は, 書面で専門医認定委員会に問い合わせして下さい。

学会本部: 〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 29 番 13 号

赤門アピタシオン内 301 号室

社団法人 **日本医学放射線学会**